

第58号 2018/Sep.

S.P.V
つうしん

発行：スペースパークボランティアの会 広報部会 〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL.024(936)0201 FAX.024(936)0089

猪苗代湖クリーンアクション 参加報告

6月23日(土)

去る6月23日にS.P.Vボランティア会で猪苗代湖浄化ボランティアに参加してきました。

郡山の水源はおおよそ新幹線から西は猪苗代湖、東は三春ダムであり、猪苗代からは日本三大疎水に挙げられる安積疎水を通して郡山市内に入り、浄水され各家庭・事業所に配水されています。猪苗代湖はかつてトップクラスの水質を誇っていましたが、自浄作用が働かず、生活・農耕・事業排水の流入で水質悪化の一途をたどっています。

この会は猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会の主催で年に複数回行われ、今回は舟津浜のヨシ狩りを行いました。ヨシは汚染源となるチツ素やリンを吸い上げますが、放置によってふたたび湖に戻るため、湖の浄化のため、湖岸に打ち上げられた大量のヨシを回収します。

砂が入ると後処理に支障をきたすため、熊手を使いながら、かき集め、袋にまとめます。砂浜にまぎれたプラスチックゴミな



どもかき集めます。その回収すべきヨシの量が5袋、6袋、7袋…あまりの量に悲壮感を感じながら黙々と束ねますが、あっという間に裸足で走れるような砂浜になっています。猪苗代湖を水源とする会津若松からも、事業所単位、学級単位で駆けつけて数百人単位集まりました。

最後に地元婦人会が用意して下さった豚汁を頂戴し、きれいになった浜辺を後にしました。

後日談：京都の三大疎水筆頭・琵琶湖疎水記念館でも京都の水の9割以上は琵琶湖で、やはりヨシ狩りは続いているとのこと。なお、琵琶湖疎水は明治遷都で寂れかけた京都を水道と水力発電で盛り上げる大プロジェクトで、その指導者で当時の京都市長は西郷隆盛の長男・菊次郎。安積疎水は大久保利通。何の縁でしょうか。 科学グループ 熊本 隆之

★ 小野町天体観望会 ★

小野町 緑とのふれあいの森公園 8月3日(金)

観望会の対象者は、合宿に来ていた高校のバドミントン部の生徒達でした。S.P.V天文グループのメンバーは9名が参加し、4台の望遠鏡で7時半からの観望会となりました。

この日は雲ひとつない星空で、金星、木星、土星、火星を同時に見ることができ、三日月のような金星、縞模様と4個の衛星を伴った木星、輪を持った土星、最接近した赤い火星を望遠鏡で見ることができました。また、アルビレオやメシエ天体も

観察できました。

肉眼では天の川や夏の星座がはっきりと見ることができ、星座に関する話題に聞き入り、初めて天の川を見た生徒もあり、星空の美しさを堪能することができたようです。さらに、ペルセウス座流星群の一部と思われる流れ星がいくつも見られ、その度に歓声が上がりにぎやかな観望会となりました。雲ひとつない最高の夜空は、参加した全員が楽しむことができた観望会にしてくれました。 天文グループ 鹿岡 国俊



スペースパークボランティア募集!

郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

※無償参加可能な方。他応募条件有り。詳しくはお問い合わせください。

問合せ先:郡山市ふれあい科学館 企画運営課
TEL024-936-0201

出張活動報告

二瀬地区夏まつり

二瀬公民館 7月28日(土)

夏休みが始まって一週間が過ぎた頃、二瀬公民館で地区の夏まつりが行われました。そのお祭りにS.P.V科学ボランティアも参加させて頂きました。

集まっていたのは、栃山神小学校、田母神小学校、二瀬中学校の約40人位の小中学生と、小学校の校長先生、地区の安全を守るおまわりさん、大人の方々もたくさん参加されていました。



S.P.Vが行った工作は二つ。「ぶんぶんごま」、「ぶっとびロケット」です。

「ぶんぶんごま」は厚紙に穴を開けてタコ糸を通します。厚紙を回転させるとタコ糸がよじれたり、とけたり。回転が速くなると音が聞こえてきます。コツをつかむと楽しい。

「ぶっとびロケット」は紙とストローでロケットをつくり、スーパーボールと竹串で発射台をつくります。スーパーボールが床に落ちるとロケットは飛んでいきます。スーパーボールを上手に落下させるのがコツです。

お祭り気分楽しんでいました。

科学グループ 伊藤美栄子

初めての出張活動

安積南公民館 7月21日(土)



7月21日(土)安積南公民館より初めての出張依頼と言う事でボランティアスタッフ5名にて参加しました。最初は「ぶんぶんごま」の制作です。作り方は簡単なのですが、出来上がったコマの遊び方に悪戦苦闘していました。コマを上手く回せず悔しがっている子どもさんも何度か挑戦するうちに回せるようになり「ヤッター!!」の自慢顔。

次に「ぶっとびロケット」に取りかかりました。ロケットと発射台の工作ですが、これが思いの外子ども達に喜んで頂け、ロケットを逆さまに飛ばしても「飛んだ、飛んだ」と大喜び。かなりの興奮と満足感を得る事が出来ました。また、父兄の方々にも「ワー、スゴイ」と、かなり盛り上がり楽しんで頂けました。

夏休み行事で他のイベントもあり私達の活動時間は1時間と短かったのですが、元気な子ども達が多く私達も笑顔で楽しい時間を過ごす事が出来ました。

科学グループ 五島ナヲ子

NEW MEMBER
>新会員<

7月からS.P.V科学グループの一員になりました塚原です。

私のボランティア始めは、東日本大震災の年、6月に娘に誘われて南相馬で二日間ボランティアを行ったのが最初です。退職後は、何か人の手助けに成ることをしたいなと思っていたので、これがきっかけになりました。その年の8月に社協主催のボランティア研修を受けました。それからは社協のボランティア要請を受け、都合がつけばその都度参加していました。その頃から科学館のボランティアには興味があったが、天文・科学の知識は無いし、案内など人に説明するのは苦手で、募集のチラシを見ては何時も迷っていました。今回受付で活動内容を聞いたら、科学グループは物を作る手助けと分かり参加することにしました。現役の時は物を作る仕事をしていたので、作る面白さ、完成した時の達成感を子ども達に少しでも伝えられたらと思います。“楽しく”をモットーに活動したいと思います。

科学グループ 塚原 譲

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第59号12月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をWEBでお知らせしています

WEBアドレス <http://www.space-park.jp/volunteer/>

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL.024(936)0201まで

編集あとがき

☆案内グループ 今年の夏は、暑かった!連日の猛暑で体は、バテバテ…ふっと空を見上げるとすじ雲が…もう空は、すっかり秋色の気配だ。(原)

☆科学グループ 暑い夏でしたが、出張活動のときは少し涼しくなり、子供達と楽しくお話ししました。(加)

☆天文グループ 猛暑の続く夏でした。でも、夜には金星、木星、土星、火星の四つを一緒に見ることができましたよ。次の楽しみは「はやぶさ2」の「リュウぐう」着陸です。(鹿)



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。紙へリサイクル可。